



総研大ニューズレター

第110号 2017.8発行

●目次

【今月のトピックス】

平成29年度 JSPS サマープログラム
 総研大広報連絡会会合を開催
 第10回中高生のための科学セミナー
 学融合レクチャー

「先端計測制御概論」

「ハラスメント概論」

統計科学専攻 学生研究発表及び大学院説明会を開催
 生命共生体進化学専攻 研究体験2017
 ～生物進化の研究を体験しよう～

国際・社会連携課
 広報社会連携室・講師 眞山聡
 広報社会連携室

素粒子原子核専攻・教授 田中真伸
 学融合推進センター・助教 菊地浩平
 統計科学専攻 研究支援担当
 先導科学研究科

【受賞・学生プレスリリース情報】

【イベント情報】

9月イベント

5日-7日、27日-29日 学融合レクチャー「センサー信号処理演習」 (@名古屋大、@東北大)
 7日-8日 学融合レクチャー「南極隕石と惑星探査から探る太陽系：惑星物質研究の最前線」
 13日-15日 学融合レクチャー「大統合自然史Ⅱ（生命・人類編）」
 19日-21日 学融合レクチャー「先端レーザー基礎演習」
 21日 地域文化・比較文化学専攻 オープンキャンパス開催
 21日-23日 学融合レクチャー「大学教員を目指す人のための教育の方法・技術」
 28日 平成29年度秋季学位記授与式

10月イベント

7日 日本文学研究専攻 入試説明会&特別講義
 10日 平成29年度秋季入学式
 10日-13日 平成29年度後学期フレッシュマンコース開催

※募集期間中の学融合レクチャーは、レクチャー情報(p.11)でご確認ください。

【今月のトピックス】

●平成29年度 JSPS サマープログラム

平成29年6月14日(水)、アメリカ合衆国、英国、フランス、ドイツ、カナダ及びスウェーデンの6カ国から博士号取得前後の若手外国人研究者(フェロー)が115名来日し、「平成29年度 JSPS サマー・プログラム」が始まりました。

前日に成田のホテルに集合したフェローは貸切りバスにて予定通り昼前に宿泊地である湘南国際村センター(葉山)に到着しました。長旅の疲れも見せず明るく元気なフェロー達の話し声が到着した瞬間に始まり、和やかな雰囲気の中プログラムはスタートを切りました。

開講式では、日本学術振興会の家理事及び本学の永田理事・副学長の歓迎の挨拶で始まり、推薦機関からも多くの関係者が出席されました。

夜の歓迎レセプションでは、日本での受入教員、本学教員や総研大生達も歓談に加わり、分野や国籍を超えた交流が活発に行われ盛大な会となりました。



長谷川学長による特別講義

2日目は、本学長谷川眞理子学長による“Evolution of Human Intelligence”と題した特別講義で始まりました。どのように人間知能の生物学的基盤が発展し、なぜ進化したのか、現在の科学に基づく文明をどのように私たちは作り上げてきたのかという講義内容でフェロー達は大いに惹きつけられ、講義後は質問も相次ぐという大変有意義な講義となりました。

3日間の日本語授業では、日本語の基礎からロールプレイング形式での実践的な会話まで、フェローのレベルにあわせた10クラスに分かれ行われ、フェロー達はこれからの日本での生活の為に意欲的に取り組んでいました。



鎌倉高德院：大仏前にて

2日目の午後は、鎌倉の代表的観光スポットである鶴岡八幡宮と鎌倉高德院（大仏）へ見学に行きました。この鎌倉ツアーは、オプション参加でしたが110人ものフェローが参加し、日本の歴史や文化への興味の高さが伝わりました。「鎌倉ウェルカムガイド」のボランティアガイドの方々にご協力を頂き、14グループに分かれ歴史的説明を熱心に聞きながら、「武家の古都」鎌倉の魅力を存分に満喫しました。道中、バスからきらきらと輝く海を眺めながら、フェロー同士の楽しいおしゃべりが途切れることなく続き、解放された時を過ごしていました。

3日目のグループディスカッションでは、総研大の様々な専攻から14名の教員の協力のもと、専攻分野が近いフェロー同士でグループに分かれました。各教員の研究紹介には始まり、フェローの研究紹介から日本と海外の研究室文化の比較に至るまで意見交換することができ有意義な時となったようです。また、オリエンテーションに並行して行われた「総研大生のための英語ポスタープレゼンテーション短期研修」（第109号参照）に参加した8人の総研大生も加わりフェローとの交流を深めていました。

午後のポスタープレゼンテーションはグループディスカッションに参加した総研大生と教職員も加わり、それぞれの研究テーマを越えた活発な議論が行われました。

ポスタープレゼンテーションの後に続く日本文化紹介では、茶道・書道・折り紙・けん玉・着付けを体験しました。今年初のけん玉コーナーでは、童心に返って真剣に挑戦するフェローの姿があり、浴衣の着付けでは、色鮮やかな涼しい装いとなり、フェロー達にも大変好評でした。



日本文化紹介にて：浴衣を楽しむフェロー達

週末は、日本家庭でホームステイを体験し、近郊の他、スーパー銭湯、カップラーメンミュージアム、プリクラ、回転寿司やラーメン、手打ちうどんなど日本独特の文化・食文化を楽しみ素晴らしい思い出を作りました。ホストファミリーによる厚いおもてなしにより、18日（日）夕方、だれもが満喫した表情で、またホストファミリーとの別れを惜しみながら葉山の宿泊地に戻ってきました。

19日（月）には、元東京藝術大学教授の安藤政輝先生の特別講義及び邦楽演奏がありました。安藤先生からは日本の伝統楽器についての説明の後に箏、尺八、三味線、十七弦を用いた6曲の楽曲の演奏があり、素晴らしい音色に感動し集中して聴き入っていました。講義の際には、安藤先生から箏の形を模した「聖護院八つ橋」がフェローに配られ味わうこともできました。質疑応答も活発にあり、演奏後のワークショップでは、壇上に用意された箏や三味線、尺八に触れてみたいというフェローが長蛇の列を作り、実際に直に楽器に触れ満喫した様子でした。

今年は空梅雨で天候にも恵まれ、専攻分野や国を超えたフェロー同士のネットワークの構築ができたオリエンテーションとなりました。フェローは仲間との別れを惜しみつつ、受入機関での2ヶ月の研究生活に期待を膨らませて旅立って行きました。そして、それぞれの機関で精力的に研究活動に従事し、8月22日には報告会が行われました（この報告会の記事は第111号に掲載予定です）。

彼らのエネルギーが日本の学生へのいい刺激ともなり、大学教育および学術交流の国際化を促進することを祈念します。



開講式での集合写真



【国際・社会連携課】

● 総研大広報連絡会会合を開催

7月11日に総研大広報連絡会会合が、学術総合センターで開催されました。

広報連絡会は、情報共有を主な目的とし、本学を構成する基盤機関（専攻）及び機構の広報担当者（教員と職員）と総研大広報社会連携室をメンバーとしています。基盤機関広報担当者と総研大広報室は、いくつかの共通目的や共通課題を持っていますが、普段は電話やメールでのやり取りであり、担当者同士が直接会う機会は多くありません。そのため、基盤機関（専攻）の広報担当教職員が顔をつきあわせて各機関広報の持つ問題と事例の情報交換を行うことによって、本学の広報事業の参考とし、またそれぞれの機関の広報活動を発展させることを目的に、総研大広報社会連携室主催で本会合を開催致しました。

当日は、15機関から23名（教員13名、職員10名）の参加があり、活発な議論が交わされました。プログラムでは、最初に長谷川学長から新執行部体制での方針について説明があり、その後広報社会連携室から、総研大広報のステークホルダーや事業についての説明を行いました。続いて、各基盤機関及び機構広報担当者からのプレゼンテーションがあり、受験生をどう集めるか、各学問分野の特徴をどう広報に生かすか、現状の課題等が紹介され、他の参加者との意見交換を行いました。



広報連絡会の様子

各機関は、同じ総研大を構成していても別法人であり、広報の対象も異なるということをお互いに再認識する良い機会となりました。違いも踏まえてこうして顔を合わせて議論することで、信頼関係を構築していければ今後の連携も取りやすいと考えています。

【広報社会連携室・講師 眞山聡】

● 第10回中高生のための科学セミナー

「新しい種はどうやって誕生するのだろうか？」

7月25日(火)、横須賀市自然・人文博物館を会場として、中高生のための科学セミナー「新しい種はどうやって誕生するのだろうか？」を開催しました。このセミナーは総研大の地域社会交流プログラムの一環として、毎年この時期に開催しています。今回は講師として、総研大 生命共生体進化学専攻の寺井洋平助教が2時間の講演を行いました。当日は75名が参加しました。



寺井助教の話を書き取り、聴く中高生たち

講演は先生の自己紹介から始まり、種の誕生について、野外調査と実験室での研究を写真や図などを用いて、説明されました。中高生たちはメモを取りながら、真剣に話を聴いていました。

アンケートでは、「実際に体験したことを教えてくれたので、そこに行った感じになり、とても面白かった。」「少し難しい専門用語が多かったけど、簡単な言葉や図で表されているのもあって、分かりやすかった。」「映像を見て日本以外には面白い動物がいる。アーノルドカゲやマカクなどがいると思うと面白い。」「普段、学校の理科の授業ではここまで詳しくはやらないので、この講演で凄く詳細に説明してくれたので、面白みがわいて、とても楽しかった。」「総研大では自分の専門を細かく研究することができて、他の人が専門とする研究ものぞくことができて面白そう。」などの意見があり、とても好評だったようです。中高生には充実した一日になったかと思えます。

最後にこの場を借りて、ご協力いただいた「横須賀市自然・人文博物館(入館無料です!)」の皆様及び、参加者の皆様に御礼申し上げます。今後の「中高生のための科学セミナー」にも是非ご期待ください。

【広報社会連携室】

● 学融合レクチャー「先端計測制御概論」開催報告

7月19日(木)~20日(金)、長野県飯田市「産業振興と人材育成の拠点」で、学融合レクチャー「先端計測制御概論」が開催されました。世界で一番最初に、誰も見たことが無い世界を観ること、新しい世界を作り出すことのワクワク感とその基盤となる計測制御技術の重要性は何かを、歴史・情報・分子・物質生命・天文・宇宙・核融合・素粒子原子核等各分野のフロントランナーを講師にお招きし熱く語っていただきました。

レクチャーには総研大学生以外に学芸員・高校教諭・高校生・自治体職員・企業研究者などバックグラウンドが多彩な方達を含め全講義で48名が参加され、参加者から驚くほど専門性の高い質問や議論が行われ、自分の分野への応用や、共同研究の提案等が出され、予定した時間を超過してしまうほどでした。

現在、これをきっかけとした関係者間で複数の共同プロジェクト研究が進んでいるようです。この様に学びつつそれを研究に役立てていくという現場に触れ、熱のある議論を行ったことで、参加した学生も意識が変わった様子で、今後は幅広く深い視野を持ち、柔軟な発想を得るための第一歩を踏み出してくれるのではと期待しています。

共催及び後援していただいた飯田市長をはじめ、飯田市、南信州・飯田産業センター、南信州広域連合の職員の皆様には会場設営、参加者の送り迎え等も含め多くのサポートをいただきました。ここに感謝いたします。講義スライドは以下のページへ上げておく予定です。(http://d-sys.kek.jp/oudan-edu/gairon/gairon) またスト



南信州新聞に掲載の記事

リーミング配信を望まれている方もいらっしゃいましたので来年度以降機会があれば検討していきます。



先端計測制御概論の風景

担当教員:坂本稔(日本歴史研究専攻 教授)、岡本裕巳(構造分子科学専攻 教授)、島谷健一郎(統計科学専攻 准教授)、越前功(情報学専攻 教授)、宮崎聡(天文学専攻 准教授)、後藤基志(核融合科学専攻 教授)、吉光徹雄(宇宙科学専攻 准教授)、吉田光宏(加速器科学専攻 准教授)、岸下徹一(素粒子原子核専攻 助教)、西中美和(学融合推進センター 特任准教授)、田中真伸(素粒子原子核専攻 教授) (以上本学)、曾根原登(津田塾大学 教授)

【素粒子原子核専攻・教授 田中真伸】

● 学融合レクチャー「ハラスメント概論」

2017年7月22日(土)に東京工業大学キャンパスイノベーションセンターにおいて、学融合レクチャー「ハラスメント概論」が行われました。当日は東北大学の吉武清實先生をお招きして、豊富な事例に基づいたキャンパスハラスメントの実態と対策についてお話をうかがいました。学生をはじめ教員、また事務職の方から併せて7名の参加があり、みなさん熱心に受講されていました。

吉武先生の講義は、先生が長く学生相談に関わってきた経験に基づくもので、豊富な具体例を交えた、大変にわかりやすい内容のものでした。

まず、ハラスメントは精神的暴力であり、放置できない人権侵害として大学側の対策が必要であること、ハラスメントに関する訴訟が多く起こされており、危機意識を持って対応することが大学組織としての課題であるというお話でした。一見ハラスメントが起こっていないように見えても、全くないというのは考えにくく、問題のある人がハラスメント問題の担当者であったり、また、教員同士では相互尊重の態度をとるが下の立場の人には違う態度をとる教員を、担当者が看過してしまい、表面化していないだけの場合もあるとのことでした。また古参の准教授が新任の教授にハラスメントを行った例もあり、身分や立場は必ずしも関係しないということも補足されました。

そして、ハラスメントは研究の停滞や、最悪の結果自殺に追い込まれるなど、非常に大きな損失を招くものであり、その対策の必要性も強調されました。対策には、素人ではなく、研修を行った常勤の職員が継続して行う必要があるということ。そして、解決方法としては、ハラスメントが実際にあったのかを「調査」し、教員を処分するという従来の対処法が一つ。ただしこの方法は、調査に時間がかかり、調査中は研究業績をつくれぬ等の弊害があるほか、双方の言い分が食い違い、うまく解決できない場合も多いということでした。そこで、ハラスメントの加害側である教員を当該学生の実験や審査に関わらせないようにする等の「調整」という対処法を有効な解決方法として紹介されました。

その他、具体例に基づき、D2の時にプロジェクトの重要な戦力として学生を休みなく働かせてしまう先生がいるが、ワークライフバランスの観点から、きちんと休みをとらせる等の指導が重要であること、また頻繁な送迎や食事など学生との距離感を忘れてしまった先生の事例、仲が悪い先生同士が学生を使って代理戦争をしてしまう例などをお話くださり、ハラスメントは我々が思っているよりも多様であることにも気づかされました。また最近の事例としてSNS上のトラブルについても言及されました。

最後に参加者との質疑応答がありました。ハラスメントの問題をどう解決するのか、あるいは、総研大のような学生と教員の距離が近い場合はどうしたらよいのか、ハラスメントをする教員が、第三者の介入で実際に態度を改めた例があるのか等の質問が参加者から出され、吉武先生か

らは次のような回答がありました。解決法については、学部や修士課程であれば調整で解決可能と思うとのこと。距離が近い場合は第三者の介入が必要だが、その際、同僚が間に入って権限を行使できるようガイドラインを整備しておく必要があるというお答えでした。ハラッサーの教員がハラスメントを指摘されたときの反応は、反省される先生もいる、また、指摘されて驚く先生もいて、教員の側にハラスメントをしている自覚があるとは限らないということでした。いずれにせよ、早めの相談が望ましいということもおっしゃっていました。

吉武先生が紹介された事例は、ハラスメントというのは人間関係の問題であり、みなが直面する可能性のあるものだということがよくわかるものでした。これに対処するため、それぞれが危機意識を持ち、「相互尊重の文化の創造者」とならなければいけないことを教えられた大変有意義な講義でした。

【学融合推進センター・助教 菊地浩平】

● 統計科学専攻 学生研究発表会(平成 29 年度第 1 回)および大学院説明会を開催

6 月 16 日(金)に、統計数理研究所(立川)において、「学生研究発表会(ポスター発表)」と「大学院説明会」(平成 29 年度第 1 回)を開催しました。

「学生研究発表会」は朝早くから大勢の入場者がポスターの前で熱い議論を交わしていました。

「大学院説明会」の内容は「専攻長挨拶(統計科学専攻の概要)」「本年度の入試ガイダンス」「カリキュラムの説明および修了後の進路紹介」「学生による学生生活と研究テーマの紹介」などです。参加者数は 42 名でここ 3 年間では最多となり、机が足りずに補助席を使用するほどでした。また 42 名のうち 27 名が有職者で、質疑応答では有職者の学生に仕事と学業の両立についての質問が集まりました。説明会終了後には希望者に対して教員との面談の時間を設定し、21 名が教員の研究室で面談を行いました。



学生研究発表



大学院説明会・質疑応答

【統計科学専攻 研究支援担当】

● 生命共生体進化学専攻 研究体験 2017 ～生物進化の研究を体験しよう～

「生命共生体進化学専攻 研究体験 2017」は、研究の体験実習とともに新しい結果を得て研究の面白さを伝えることを目指して行いました。参加者は 2 つの高校から、合わせて 7 名の学生と先生の計 9 名でした。

実習の目的は視覚関連遺伝子の適応進化を明らかにすることです。研究の面白さを伝えるため、始めに高校生にサンプルを集めることから行ってもらいました。具体的には日本近海で漁獲される魚類の組織サンプル(つまり切り身)を集めることです。実習を行った 7 月の 26 日から 28 日は気温が高く、新鮮な状態で持ってくるが大変でしたが、高校生たちはサンプルとともに総研大葉山キャンパスにやってきました。

実習当日は昼に総研大に到着して午後から実験を開始しました。高校生は初めて扱うピペットマンに最初は戸惑い気味でしたが、五條堀淳講師の熱心な指導のもと少しずつ使いこなせるようになりました。

初日はゲノム DNA 抽出と精製、PCR¹による視覚関連遺伝子



五條堀講師と楽しく実験をする高校生

¹ PCR とは、Polymerase Chain Reaction (ポリメラーゼ連鎖反応)の略である。この反応により、特定の DNA 領域を増幅することが可能となる。

(RH1)の増幅反応までを行いました。2日目はPCRによる増幅の確認、DNA塩基配列決定の反応と塩基配列の解読を行いました。今回は、「キンメダイを使ってみよう」との要望から、キンメダイ専用のコースも用意しました。そして参加した生徒たちは見事に目的遺伝子を増幅することに成功しました。



初めての分子生物学実験を行う高校生

今回用いた魚類では、カレイの仲間、メバル、タイなどは比較的浅い水深に生息し、キンメダイは深い水深に生息しています。これらの魚から薄暗いところで物の輪郭を見る役割を持つRH1遺伝子の配列を決定しました。生徒たちの実験結果はとてもきれいで解析は順調に進みました。解析は高校から持参したパソコンにフリーの解析プログラムをいれて、高校に帰ってからも解析できる環境を整えて行いました。

今回用いた比較的浅い水深に生息する魚類ではRH1遺伝子のアミノ酸の先頭から292番目のアミノ酸がアラニンであり、浅い海での適応型であることが明らかになりました。そしてキンメダイでは292番目がセリンであり深い海での適応型であることが明らかになりました。

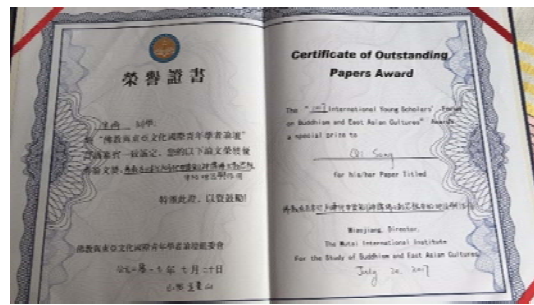
これらの解析により海の深さにたいする適応進化を明らかにすることができたことは、予想以上の成果でした。生徒さんたちは初日、これまで体験したことのない実験をするため少し不安な表情をしていましたが、最終日は研究に対する自信を少し身に付けた笑顔で手を振って帰っていきました。

【先導科学研究科】

受賞

○文化科学研究科 国際日本研究専攻 宋琦さん (D2)

2017 International Summer Program on Buddhism and East Asian Cultures 特別賞
(「2017年度 仏教と東アジア文化 国際若手学者論壇 優秀論文賞」)を受賞。



(左) 受賞時の写真 (右から2番目が宋さん)、「五台山大聖竹林寺」中に位置する「五台山仏教研究院」内で撮影。(右) 賞状

○物理科学研究科 機能分子科学専攻 平等拓範 准教授

「泰山賞レーザー進歩賞」を受賞。

賞の概要：レーザー発明50周年を記念して、平成20年度より(公財)レーザー技術総合研究所が創設した賞で、レーザー進歩賞はパワーレーザーに関する科学技術とその応用分野で優れた業績をあげた個人またはグループに授与される。

受賞業績：「固体レーザーの小型化と非線形光学波長変換の先駆的研究」で、高性能固体レーザーの開発や非線形光学の研究を推進し、レーザーの小型化や真空紫外域からテラヘルツ波領域にいたる波長変換に関して優れた成果が評価された。

○複合科学研究科 情報学専攻 Yu Yi(ユイ) 助教

「APWeb-WAIM 2017 Best Paper Runner Up」を受賞。

受賞論文：Deep Multi-Label Hashing for Large-Scale Visual Search Based on Semantic Graph

- 複合科学研究科 情報学専攻 相原健郎 准教授
高倉淳宏 教授

The 5th International Conference on Distributed, Ambient and Pervasive Interactions
で「Best Paper Award」を受賞。

受賞論文：A Smart City Application for Sharing Up-to-date Road Surface Conditions
Detected from Crowdsourced Data

- 複合科学研究科 情報学専攻 稲邑哲也 准教授らのチーム「eR@sers」

ロボット競技会の世界大会 RoboCup 2017 で Open Source Software Award を受賞。

チームの概要：eR@sers は情報学研究所(NII)の他、玉川大学、東京都市大学、情報通信研究
機構(NICT)、早稲田大学からなる合同チーム。

- 複合科学研究科 情報学専攻 稲邑哲也 准教授らのチーム「eR@sers」

稲邑教授らのチーム「eR@sers」がロボット競技会の世界大会 RoboCup 2017 の RoboCup@Home
Domestic Standard Platform League で準優勝。

競技名：RoboCup@Home Domestic Standard Platform League

- 複合科学研究科 情報学専攻 Trung-Nghia Le さん、杉本晃宏教授らのチーム

国際会議 CVPR のワークショップ DAVIS Challenge on Video Object Segmentation 2017 で第
3位に入賞。

チームの概要：NII、ベトナム国家大学ホーチミン校(VNU-HCM)、デイトン大学(Univ. of
Dayton)からなる合同チーム。

- 生命科学研究科 遺伝学専攻 平田たつみ 教授

澤斉 教授

日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員（書面担当）賞を受賞。

受賞コメント

複合科学研究科 情報学専攻 Trung-Nghia Le さん

It is our great honor and pleasure to win the third prize in DAVIS Challenge on Video Object Segmentation, CVPR 2017 Workshop. Our team members come from NII, SOKENDAI (Japan), the University of Science and the University of Information Technology, VNU-HCM (Vietnam), and the University of Dayton (USA). Based on the performance, we stood the third place among 22 participants attended the challenge. Although I represent the team, this achievement is awarded to the team due to efforts of all members so that this award is for the whole team. I am greatly indebted to my supervisor, Professor Akihiro Sugimoto, for his support, as well as the collaboration of other members.

学生プレスリリース

- 日本歴史研究専攻の秋山かおりさん（学生）の研究が琉球新報、沖縄タイムスに掲載されました。

・7月21日掲載、「ハワイ捕虜の名簿確認 沖縄県公文書館が所蔵」（琉球新報、Web版）

<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-538997.html>

<http://english.ryukyushimpo.jp/2017/07/28/27393/>

- ・7月22日掲載、「氏名や生年月日、本籍・・・沖縄戦のハワイ捕虜名簿 3600人分 県公文書館が保管」(沖縄タイムス+プラス、Web版)
<http://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/116974>

○遺伝学専攻の松本悠貴さん(学生)らの研究がプレスリリースされ、各紙に掲載されました。

- 「家畜動物はなぜ人になつたのか～人に近づくマウスをつくり遺伝のしくみを解明～」
https://www.nig.ac.jp/nig/ja/2017/07/research-highlights_ja/20170705.html (遺伝研)
- ・7月5日掲載、日刊工業新聞「動物がヒトに近づく「従順性」、特定ゲノム領域が関与-遺伝研」(Web版)
<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00434604> (記事全文を読むには無料会員登録が必要)
- ・7月6日掲載、マイナビニュース「遺伝研、家畜動物が人になつた理由を解明」(Web)
<http://news.mynavi.jp/news/2017/07/06/087/>

○生命共生体進化学専攻の秋山辰穂さん(学生)らの研究が、CNET Japanに掲載されました。

- ・6月30日掲載、CNET Japan「ヒトの光感受性の個人差と関係する時計遺伝子～祖先タイプは光感受性の低いタイプだった -- 北里大学」(Web版)
<https://japan.cnet.com/release/30197981/>

○生理科学専攻の小田紗矢香さん(学生)らの研究グループの共同研究がプレスリリースされ、マイナビニュースに掲載されました。

- 「高血糖時の TRPC6 発現増加が心不全発症リスクを軽減～糖尿病性心不全の予防・治療に期待～」
<http://www.nips.ac.jp/release/2017/08/trpc6.html> (生理研)
- ・8月9日掲載、マイナビニュース「高血糖時の TRPC6 発現増加が心不全発症リスク軽減-糖尿病性心不全予防に期待」(Web)
<http://news.mynavi.jp/news/2017/08/09/163/>

—本学学生がメディアに取り上げられました—

○比較文化学専攻のハナ・イスタムさん(学生)が中日新聞に紹介されました。

- 7月22日掲載、中日新聞 記者コラム 窓「いた!」(Web版)
<http://www.chunichi.co.jp/article/ishikawa/toku/mado/CK2017072202000212.html>

イベント情報

○平成29年度後学期フレッシュマンコースを開講

この度、平成29年度10月入学の新入生を主たる対象に、総研大フレッシュマンコースを開講します。本コースは、合宿型の集中講義です。「研究者を目指すすべての人が身につけるべき技術・考えるべき問題を学ぶこと」、「総研大ならではの知的広がりに触れる中で、異なる分野の人とのつながりを築くこと」を目的としています。

日時：平成29年10月10日(火)～13日(金)

対象：

- ・必修科目—物理科学研究科・複合科学研究科・生命科学研究科・先端科学研究科の学生
(ただし、平成29年度後学期より、統計科学専攻の博士課程(3年次編入学)入学者については、選択科目となる予定)

※特別な事情により、受講できない新入生は、次年度以降のフレッシュマンコースを必ず受講して下さい。

- ・選択科目—文化科学研究科・高エネルギー加速器科学研究科

場所：総研大葉山キャンパス

受講締切：提出方法によって、締切日が異なります。(最終締切：9月25日(月))

[入学手続き書類と同封する場合]

9月20日(水)～9月25日(月) (入学手続き期間中) → 学務課学生厚生係宛に郵送



[メールにて提出する場合]

9月25日(月) → 総研大フレッシュマンコース実施事務局宛 (以下の宛先)
問い合わせ先: 受講申込書の提出並びに、本コースに関する問い合わせは以下の宛先までお願いいたします。

総研大フレッシュマンコース実施事務局 (Mail to : fc2017@ml.soken.ac.jp)
詳細については、下記 URL をご確認ください。

日本語 : https://www.soken.ac.jp/event/20171010_13

English : https://www.soken.ac.jp/event/20171010_13eng/

フレッシュマンコースについては、下記の web ページも併せてご覧ください。

日本語 : https://www.soken.ac.jp/activities/interdep_program/freshman_course/

English: https://www.soken.ac.jp/en/activities/interdep_program/freshman_course/

○地域文化学・比較文化学専攻 オープンキャンパスを開催

日 時 : 平成 29 年 9 月 21 日(木) 13:00-17:00 (受付開始 12:30)

場 所 : 国立民族学博物館 2 階 第 3 セミナー室

概 要 : 大学院の概要・教育内容・入試説明。施設見学、修了生の講話・交流会など。

申込方法: 以下の申込フォームからご応募下さい。(応募締切日:平成 29 年 9 月 20 日(水))

<https://www.minpaku.ac.jp/research/education/university/information/scform2017opencampus>



○日本文学研究専攻入試説明会および平成 29 年度第 1 回特別講義「近世の学芸と文学」

日 時 : 平成 29 年 10 月 7 日(土) 13:30-17:00

場 所 : 国文学研究資料館 (東京都立川市緑町 10-3)

内 容 : 専攻の概要説明、入試説明、施設案内、在学生との懇談会、特別講義(15:00-16:30) 及び、教員との相談会

特別講義の講師: 一戸渉(日本文学研究専攻修了生、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫准教授)

申込方法: 要事前申込

申込時の必要事項、メールの宛先については以下の URL よりご確認ください。

URL : <http://www.nijl.ac.jp/~kyodo/soken.files/enter/seminar.html>

○国際日本研究専攻 大学院入試説明会

日 時 : 平成 29 年 10 月 25 日(水) 13:00-15:00

場 所 : 国際日本文化研究センター
(京都市西京区御陵大枝山町 3-2)

内 容 : 入学試験の説明、現役大学院生による日文研ツアー、学生生活・研究活動に関する質疑応答

申 込 : 要事前申込

申込方法については以下の URL よりご確認ください。

URL : http://www.nichibun.ac.jp/ja/education/graduate_s.html



○日本歴史研究専攻 大学院説明会

日 時 : 平成 29 年 10 月 29 日(日) 13:00-16:00

場 所 : 国立歴史民俗博物館 大会議室
(〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117)

内 容 : 入試説明、大学院説明 (13:00-13:30)、研究施設・院生研究室・所蔵資料見学 (13:30-15:00) 及び、各分野教員・在学生との懇談 (15:00-16:00)

申 込 : 参加料無料、事前申込不要

○総研大文化フォーラム 2017

日 時 : 平成 29 年 12 月 2 日(土)-3 日(日)

場 所 : 国立歴史民俗博物館 (〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117)

(<https://www.rekihaku.ac.jp/information/access.html>)

プログラム : 12/2 シンポジウム、ポスター発表、懇親会

12/3 口頭発表、(仮)歴博ツアー(施設見学・展示見学)

対象：総研大学生、教職員及び参加を希望し文化科学研究科が認めた者。

※学生の場合、本フォーラム参加について指導教員へ事前報告が必要。

参加登録期間：[発表者(ポスター発表・口頭発表)の募集]平成29年8月31日(木) 17:00

[発表者以外の聴講のみの参加者]平成29年9月29日(金) 17:00

参加申込方法などの詳細については、下記URLをご覧ください。

<https://www.soken.ac.jp/event/bunkaforum2017/>



レクチャー情報

<学融合レクチャー情報>

○学融合レクチャー「先端レーザー基礎演習」開講

本講義は”センシング・コントロール・アナリシスを軸とした科学と技術の進化・分野融合をめざしたプラットフォーム構築統合教育プログラム”のStep2として開講し、修了認定を受けた学生には修了証を発行します。

日時：平成29年9月19日(火)-9月21日(木)

場所：分子科学研究所(明大寺キャンパス)

(〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺西郷中38)

単位数：1単位(使用言語：日本語)

担当教員：藤貴夫(機能分子科学専攻・准教授)、田中真伸(素粒子原子核専攻・教授)

対象者：本学および他大学の大学生(修士課程および博士課程の全学年対象)

申込期日：平成29年8月31日(木) ※定員に達したため、募集を締め切りました

※レクチャーの詳細や参加申込方法については、下記URLをご確認ください。

日本語：<https://www.soken.ac.jp/event/20170919/>

英語：<https://www.soken.ac.jp/event/20170919eng/>

○学融合レクチャー「基礎デジタル計測制御演習」

ランダム可能な論理デジタル集積回路(FPGA)を用いたシステム開発で必要となる開発ツールの使い方習得をめざした実習形式の未経験者向けセミナー(全二日間)です。本レクチャーでは、受講後に独力でFPGA開発が進められるよう、導入講義+個人指導つき実習+解説を通して、最低限の予備知識と研究で使える実践的なFPGA利用法の習得を図ります。

日時：平成29年10月19日(木)-20日(金)

場所：核融合科学研究所 土岐キャンパス(〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6)

単位数：1単位(使用言語：日本語)

担当教員：中西秀哉(核融合科学専攻・准教授)、内田智久(素粒子原子核専攻・准教授)

対象者：本学および他大学の大学院生(修士課程および博士課程の全学年対象)

申込期日：総研大生(先行)受付 8月28日(月)-10月5日(木)

一般受講受付 9月11日(月)-10月5日(木)

但し、定員(20名)になり次第、締め切ります。

※レクチャーの詳細や参加申込方法については、下記のURLをご確認ください。

日本語：<https://www.soken.ac.jp/event/20171019/>

英語：<https://www.soken.ac.jp/event/20171019eng/>

●その他の基盤機関の行事

9月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
開催中-3日(日)	09:30-17:00	企画展示「URUSHIふしぎ物語-人と漆の12000年史-」国立歴史民俗博物館 企画展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html

開催中- 9月3日(日)	09:30-17:00	特集展示「楽器と漆」国立歴史民俗博物館 第3展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
開催中- 9月10日(日)	09:30-17:00	くらしの植物苑特別企画「伝統の朝顔」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/project/index.html
開催中-9月 16日(土)	10:00-16:30	通常展示「書物で見る 日本古典文学史」 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/bungakushi201706-09.html
開催中-9月 16日(土)	10:00-16:30	展示特設コーナー「アーカイブズが語る近世後期の多摩地域」 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/tama.html
開催中-9月 17日(日)	11:00-18:30	企画展「野辺山から見る宇宙(そら)」 天文・科学情報スペース	http://mitakatkjs.mall.mitaka.ne.jp/%E4%BC%81%E7%94%BB%E5%B1%95%E3%80%8C%E9%87%8E%E8%BE%BA%E5%B1%B1%E3%81%8B%E3%82%89%E8%A6%8B%E3%82%8B%E5%AE%87%E5%AE%99%EF%BC%88%E3%81%9D%E3%82%89%EF%BC%89%E3%80%8D/
開催中- 30日(土)	10:00-17:00	国立極地研究所 南極・北極科学館夏の企画展 国立極地研究所 南極・北極科学館	http://www.nipr.ac.jp/science-museum/event.html#kikaku
開催中- 10月10日 (火)	10:00-17:00	開館40周年記念特別展「よみがえれ! シーボルトの日本博物館」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20170810siebold/index
開催中- 1月8日(月 祝)	9:30-16:30	特集展示「国立公園 今昔」 国立歴史民俗博物館 第4展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
2日(土)	13:00-17:00	国文学研究資料館主催 シンポジウム「歴史資料救出の先へ」 いわき市文化センター大ホール	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/symposium/images/iwaki.pdf
2日(土)	13:15-	4D2U定例公開「月の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
3日(日)	9:00-16:30	高エネルギー加速器研究機構 一般公開 「“知りたい”が加速する —宇宙・物資・生命の謎—」 場所: 高エネルギー加速器研究機構 つくば キャンパス	https://www2.kek.jp/openhouse/2017/
3日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「アラビアコーヒーにみるアラブ世界のおもてなし文化」 国立民族学博物館 本館展示場(西アジア展示場)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/479
7日(木)- 12月5日(火)	10:00-17:00	「開館40周年記念・カナダ建国150周年記念企画展「カナダ先住民の文化の力—過去、現在、未来」 国立民族学博物館 企画展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/canada20170907/index
7日(木)	11:30-12:15	展示ギャラリートーク 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/bungakushi201706-09.html
8日(金)	13:15-	4D2U定例公開「月の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/

8日(金)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体: M57 環状星雲 (こと座にある惑星状星雲)> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
9日(土)	13:00-15:00	第403回歴博講演会「自然の中の文化・歴史を守る」国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
9日(土)	13:15-	4D2U定例公開「アストロノマー・トーク 月の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
9日(土)	13:30-16:20	開館40周年記念「エジプト映画『ヤギのアリーとイブラヒム』上映会」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/yagi20170909
9日(土)	14:00-16:40	一般公開国際シンポジウム「カナダ先住民の歴史と現状」 国立民族学博物館 第4セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/rm/20170909
10日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「南アジア展示「生態となりわい」の見どころ」 国立民族学博物館 本館展示場(南アジア展示場)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/480
12日(火)	14:00-16:00	第315回日文研フォーラム「千二百年前の文化交流—入唐日本人の生活と交友」 ハートピア京都3階大会議室	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/cal/2017/09/12/index.html
12日(火)– 10月22日 (日)	9:30-17:00	特集展示「年号と朝廷」 国立歴史民俗博物館 第3展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
16日(土)	10:30-12:00	台湾文化光点計画連続講座「台湾の飲食文化を学ぶ」 「阿宗麵線を食べたことがありますか?—台湾鯉節の歴史」 国立民族学博物館 第5セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/20170717taiwan
16日(土)	13:00-16:00	第106回歴博フォーラム「年号と日本文化」 国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html
16日(土)	13:15-	4D2U定例公開「月の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
16日(土)	13:30-15:00	【企画展関連】みんなくゼミナール「多文化主義の国カナダにおける先住民文化」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/472
17日(日)	14:30-15:15	【企画展関連】みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「カナダ先住民の文化の力—過去、現在、未来」 国立民族学博物館 本館展示場(企画展示場)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/481
18日(月・祝)	13:30-16:00	開館40周年記念みんなく映画会 みんなくワールドシネマ—映像から考える<人類の未来>「おみおくりの作法」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movies1709
18日(月・祝)	12:50-16:00	極限環境における生命 ~生命創成の探究に向けて~ 東京国際交流館(プラザ平成) 国際交流会議場	http://www.nins.jp/public_information/sympo24.php

22日(金)-10月22日(日)		みたか太陽系ウォーク2017	http://www.taiyokei-walk.jp/
23日(土)	13:30-15:30	第222回くらしの植物苑観察会 「屋敷林の植物文化誌」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	国 http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/observation/index.html
23日(土)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体:M15 (ペガスス座にある球状星団) > 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
24日(日)	14:30-15:15	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「アジアの婚礼—祝福のかたち」 国立民族学博物館 本館展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/482
26日(水)	14:00-16:30	第65回日文学術講演会 国際日本文化研究センター講堂	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/kohenkai/s003/cal/2017/09/26/index.html
28日(木)-11月14日(火)	10:00-17:00	開館40周年記念新着資料展示「標 交紀(しめぎゆきとし)の咖啡(コーヒー)の世界」 国立民族学博物館 ナビひろば	

10月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
1日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「1962年、世界をめぐる旅」 国立民族学博物館 本館展示場	
7日(土)-8日(日)	10:00-17:00 9:30-16:30	学術潮流フォーラムⅠ 人類基礎理論研究部・国際シンポジウム「変容する世界のなかでの文化遺産の保存」 国立民族学博物館 第4セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/rm/20171007
7日(土)	13:15-	4D2U定例公開 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
8日(日)	14:30-15:15	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「島に住む人類」 国立民族学博物館 本館展示場	
9日(月・祝)	10:15-15:50	【新着資料展示関連】ワークショップ「標 交紀の咖啡とは？」 国立民族学博物館 第5セミナー室	
11日(水)-12月10日(日)	09:30-16:30	企画展示「1968年」—無数の問いの噴出の時代— 国立歴史民俗博物館 企画展示室	
13日(金)-14日(土)		三鷹・星と宇宙の日 2017 国立天文台三鷹キャンパス 東京大学天文学教育研究センター 三鷹市星と森と絵本の家	
14日(土)	13:30-16:30	開館40周年記念みんなく映画会 台湾文化光点計画 台湾映画鑑賞会—映画から台湾を知る「祝宴!シェフ」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movies171014taiwan
15日(日)	14:30-15:15	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館 本館展示場	



【広報社会連携室から】

○新執行部と教職員（OBを含む）交流 BBQ パーティーを開催しました。

梅雨が明けた7月22日（土）、30度を超える猛暑の中、葉山キャンパス園庭において、新執行部と教職員の交流 BBQ パーティーが開催されました。教職員全体の BBQ は3年ぶりとなりますが、この度は、20名のOBの参加もあり、ご家族を含めると総勢100名を超える大規模な BBQ となりました。100名超の BBQ は総研大始まって以来の出来事となります。

当初、この規模の大きさに幹事・実行委員は頭を悩ませていたようですが、図書館職員の石田さんのご伴侶が、ホテルのシェフをしているということで、無理を言って当日の料理をお願いしたところ、ご快諾いただき、調達、仕込みから調理まで、一手に引き受けていただけました。おかげさまで、われわれは緑陰の中、すばらしいフランス料理を堪能することができました。

葉山キャンパスからは、長谷川学長、中村、永田両理事、佐々木先導研研究科長、颯田学融合推進センター長、日向野事務局長をはじめ54名、OBからは、及川元附属図書館長、大高東京海洋大学学務部長（元総務課長）、杉浦沼津高専事務部長（元総務課長）、高橋大阪教育大学学務部長（元学務課長）をはじめ20名の参加がありました。また、ご家族・関係者の方も30名程おられました。



○総研大は、来年2018年に創立30周年を迎えます。

10月1日の創立記念日を中心に、式典の開催、修了生による講演会、ロゴ・スローガン・キャラクターの作成、寄付口座の開設及びホームカミングデーの開催などを考えています。これらにつきご意見のある方、また、これら以外のアイデアのある方は、30周年事業担当の田村学長補佐 (katsumi_tamura@soken.ac.jp)、あるいは、広報社会連携室 (kouhou1@ml.soken.ac.jp) まで、ご意見をお寄せください。

—メディア・イベント出演情報—

○長谷川学長のコラム「時代の風」が毎日新聞にて連載中です。

長谷川学長は2016年4月から、毎日新聞に「時代の風」というコラムを連載（6週間に1回）しています。紙面に掲載された連載記事の内容は、本学HPからも読むことができますので、ご興味のある方はご一読下さい。（8月30日（水）現在、第12回目（毎日新聞7月16日掲載分）までご覧いただけます。）本学HPのトップ画面の「学長通信」のバナーからぜひご覧下さい。

— 時代の風（毎日新聞掲載コラム） —

http://www.soken.ac.jp/outline/message_index/hasegawa_mariko/kaze/

○7月5日発行の西日本新聞に学融合推進センターの塚原直樹助教の研究が紹介されました。

<https://www.nishinippon.co.jp/nnp/national/article/340500/> (Web版)

○広報特派員の募集について

広報社会連携室では、広報特派員を募集しております。総研大の広報活動にご協力いただける学生さんの応募をお待ちしております。

詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

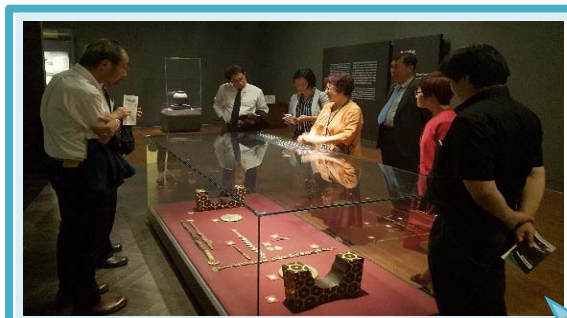
<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/information/corres/>



【編集後記】

総研大ニューズレター第110号をお届けします！今年の8月はぐずついた天気が続きましたね。東京都心では8月中の連続降水量は21日を記録し、これは歴代2位の記録だそうです。8月下旬は晴れの日が続き、夏らしくなってきたように感じています。

8月17日から18日に1泊2日で行われた、長谷川学長、永田理事・副学長の科学技術連合大学院大学(University of Science and Technology : UST)訪問に同行しました。訪問2日目に、UST 新入生を対象とした全学的事業であるニューカマーズオデッセイプログラムを見学しました。レクチャーを真剣な眼差しで聴くUST 新入生と、楽しそうに講義する担当教員の姿がとても印象的でした。また、昼食・夕食の時に、UST 職員の方とお互いの仕事などについて、話すことができたのは貴重な経験となりました(日本語ができる職員の方が3名いらっしゃり、皆さんとても日本語がお上手でした！)



2日目 国立公州博物館熊津百済室訪問
(提供：UST)

私にとっては初の海外出張&渡航であり、出入国審査で引っかけられないか心配でしたが、無事に帰国できました!! (韓国入国時に、検疫検査の順番待ち中に麻薬捜査犬が近づいてきた時はドキドキしました。もちろん、何もやましいことはしていませんよ！)

UST 訪問時の記念写真をいただきましたので、掲載いたします。最後にこの場を借りて、関係者の皆様に御礼申し上げます。(UST 訪問については、次号のニューズレターに掲載予定です。)

トピックスの原稿をご寄稿いただけましたら、総研大ニューズレターへ掲載いたしますので、総研大関係のイベント、受賞情報等ありましたら、是非とも広報社会連携室まで情報をお寄せください。 9月号は休刊です。次回の発行は、10月号(第111号)となります。

広報社会連携室 E・A

広報社会連携室では、メディアを通じて総研大の研究成果を広く社会に発信しています。特に、総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻(基盤機関)との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニューズレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報を是非お寄せください。

研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、「総合研究大学院大学」と表記いただきますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします。

発行 2017年8月30日
編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)

神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)
広報社会連携室
TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632
Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp
※(at)は@に変換してください。

©2017SOKENDAI